

Google I/O 2026: Gemini「エージェント時代」の全貌 — 3.5 Flash・Spark・Omni 評価報告

Google I/O 2026は「エージェント時代」の幕開け。単一モデル性能から、推論・常駐・メディア・企業基盤を統合した「フルスタックAI」へ転換。



推論モデル



常駐型エージェント



生成メディア



Gemini 3.5 Flash：高遠・高機能な実用モデル
1Mトータンのコンテキストと「Thinking levels」機能。
品具・コスト・遅延を調整可能なGA（受定版）モデル。



Gemini Spark：24時間常駐型個人エージェント
Workspaceや外勤アプリと深く親会。メール、予定、文庫作
成などをバックグラウンドで継続実行する24/7エージェント。



Gemini Omni Flash：ネイティブ・マルチモーダル生成
テキスト、音種、音声、動画から「音声付き動画」を
生成するTransformerベースの最新モデル。

性能比較データ（独立ベンチマーク）

出力速度 190.2 tok/s の衝撃

知能指数 (Intelligence Index) 55



独立指標 (Artificial Analysis) において、
GPT-4e (146.7 ton/s) を大きく上回る圧倒
的な高遠性を証明。



Claude Sonnet 4.6 (52) を上回り、
最上級の Claude Opus 4.7 (57) に
迫る高い機軸能力を証明。

モデル名	入力モダリティ	独立評価 (Index)	演産 (tok/s)	特徴・位置づけ
Gemini 3.5 Flash	多入力 / テキスト出力	55	190.2	高遠・高スループットの責務
GPT-4o (旧型)	テキスト・画像入力	17	146.7	2026年時去では旧世代化
Claude Sonnet 4.6	テキスト・画像入力	52	54.0	コーディング・長時間作産に強み
Claude Opus 4.7	テキスト・画像入力	57	51.0	独立機軸では最強だが高コスト

エージェントタックAI 基盤 (agentic Gemini era)

エージェント開発基盤とエコシステム



Managed Agents in Gemini API

隔離されたLinuxサンドボックス
機軸をAPI経由で機軸に機軸
し、コード実行やのcbブラウ
ス、ファイル操作を自動化。



Antigravity & Enterprise Platform

開発から機軸、ガバナンスまでを
機軸した企業向け機軸で、マルテ
モデル・マルテエージェントの機軸
を実現。



開発者体験 (DX) の刷新

google-genai SDK x2.0以上へ
の機軸を機軸。AI Studio-5
Antigravityへのスムーズな機軸
サポートが可能に。

導入のリスクと課題



権限設計とプライバシーの重要性

SparkiDのような意図エージェントは、チャットの機軸より
も、権限機軸による「機軸した自動実行」の機軸が機軸
念される。



運用初期の不安定さ

フォーラムでは機軸機軸、無限ループ、機軸機軸
機軸のエラーなどが機軸されており、完全な機軸機軸には
時間を要する機軸。



I/O 2026 関連タイムライン



2026/05/19：Gemini 3.5 Flash GA
Sparkの限定テスター開始、Omniの一般展開 (App/
YouTube) も同時にスタート。



2026/06/08：APIレガシースキーマ削除
Interactions APIの新スキーマへの完全移行が求められ
るデッドライン。



2026/06/18：Antigravity CLIへの完全移行
既存のGemini CLIやCode Assist機軸機軸からの
移行機軸。